

第34回日本糖尿病性腎症研究会 プログラム

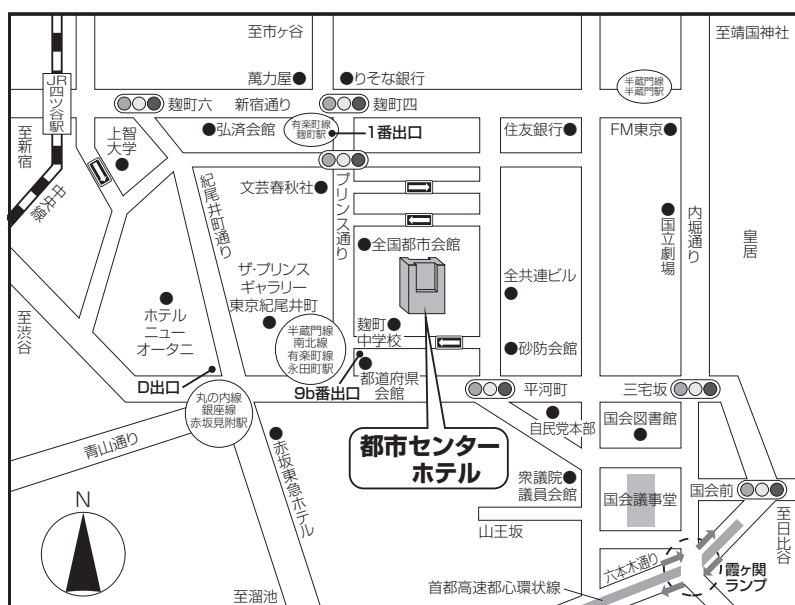
日時：令和5年12月2日（土）・3日（日）

開催形式：現地開催

会場：都市センターホテル（東京都千代田区平河町 2-4-1）

会費：7,000円（医師・研究者・企業）

2,000円（医師以外の医療従事者：看護師・薬剤師・栄養士など）



- ◆地下鉄 麴町駅（有楽町線）半蔵門方面1番出口より徒歩約4分
永田町駅（南北線・有楽町線・半蔵門線）9b番出口より徒歩約3分
赤坂見附駅（丸の内線・銀座線）D出口より徒歩約8分
- ◆JR 四ツ谷駅麴町口より徒歩約14分
- ◆都バス 橋63系統「平河町二丁目（日本都市センター前）」下車
（新橋駅⇄市ヶ谷駅⇄小滝橋車庫前）

世話人	日本大学	阿部雅紀
	和歌山県立医科大学	荒木信一
	岡山大学	四方賢一
	JR 東日本新潟健康推進センター/新潟大学	鈴木芳樹
	東京女子医科大学	馬場園哲也
	岡山大学	和田淳志
	金沢大学	和田隆志

第34回当番世話人

日本大学

阿部雅紀

丸山高史、小林洋輝（事務局）

後援 一般社団法人日本糖尿病学会、一般社団法人日本腎臓学会

認定単位について：

一般社団法人日本糖尿病学会 糖尿病専門医単位 3単位

一般社団法人日本腎臓学会 腎臓専門医資格更新単位 1単位

一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構〈第2群〉研修単位 2単位

日 程 表

12月2日 (土)

参加受付：9：00～17：30

	第1会場 (3F コスモスホールI)	第2会場 (3F コスモスホールII)	第3会場 (5F オリオン)
9:00			9:00～9:50 幹事会 (5F スバル)
	9:55～10:00 開会挨拶		
10:00	10:00～10:50 一般演題1「臨床1 (治療)」 演題番号 0-01～0-04 座長：小川 晋 豊田雅夫	10:00～10:50 一般演題3「臨床3 (腎病理)」 演題番号 0-09～0-12 座長：守屋達美 守矢英和	10:00～11:00 一般演題5「基礎2 (分子病態)」 演題番号 0-18～0-22 座長：山岸昌一 斎藤亮彦
11:00	11:00～11:50 一般演題2「臨床2 (治療)」 演題番号 0-05～0-08 座長：宇津 貴 林 晃正	11:00～12:00 一般演題4「基礎1 (分子病態)」 演題番号 0-13～0-17 座長：金崎啓造 小林洋輝	11:00～12:00 一般演題6「基礎3 (薬理機序)」 演題番号 0-23～0-27 座長：井口登與志 深水 圭
12:00			
12:10	12:10～13:00 ランチョンセミナー1 座長：和田 淳 演者：山内真之 共催：バイエル薬品株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー2 座長：金崎啓造 演者：豊田雅夫 共催：アステラス製薬株式会社/ 寿製薬株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー3 座長：和田隆志 演者：鈴木 智 宮田仁美 共催：株式会社カネカメディックス
13:00	13:05～13:15 研究会からの連絡		
13:15	13:15～15:20 シンポジウム1 糖尿病性腎症の予後改善に向けて ～治療戦略最前線～ 座長：和田隆志 四方賢一 演者：小林洋輝 岩田恭宜 金崎啓造 稲城玲子 長洲 一	13:15～14:05 スポンサードセミナー1 座長：鈴木芳樹 演者：丸山之雄 共催：ノーベルファーマ株式会社/ 株式会社メディパルホールディングス	13:15～14:05 スポンサードセミナー3 座長：丸山高史 演者：原 一雄 共催：大塚製薬株式会社
14:00		14:15～15:05 スポンサードセミナー2 座長：海津嘉蔵 演者：星野純一 共催：鳥居薬品株式会社	14:15～15:05 スポンサードセミナー4 座長：酒井 謙 演者：菊地 勤 共催：ニプロ株式会社
15:00		15:10～15:40 教育講演1 循環器内科目線で糖尿病性腎症を考えると見える「できていない」心不全治療～この会だからこそ言える本音～ 座長：阿部雅紀 演者：岸 拓弥	
15:30	15:30～17:00 特別企画 新規CKD治療薬と糖尿病性腎症 座長：柏原直樹 荒木信一 演者：和田 淳 佐藤敦久 長田太助	15:50～16:20 教育講演2 糖尿病性腎症の食事療法 —エネルギーとたんぱく質の考え方とピックス— 座長：鶴屋和彦 演者：鈴木芳樹	
16:00		16:30～17:00 教育講演3 高齢者糖尿病診療ガイドライン2023 座長：赤井裕輝 演者：荒木 厚	
17:00			
17:15	17:15～18:05 イブニングセミナー1 座長：片山茂裕 演者：豊田雅夫 共催：テルモ株式会社	17:15～18:05 イブニングセミナー2 座長：羽田勝計 演者：合田朋仁 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/ 日本イーライリリー株式会社	
18:00			

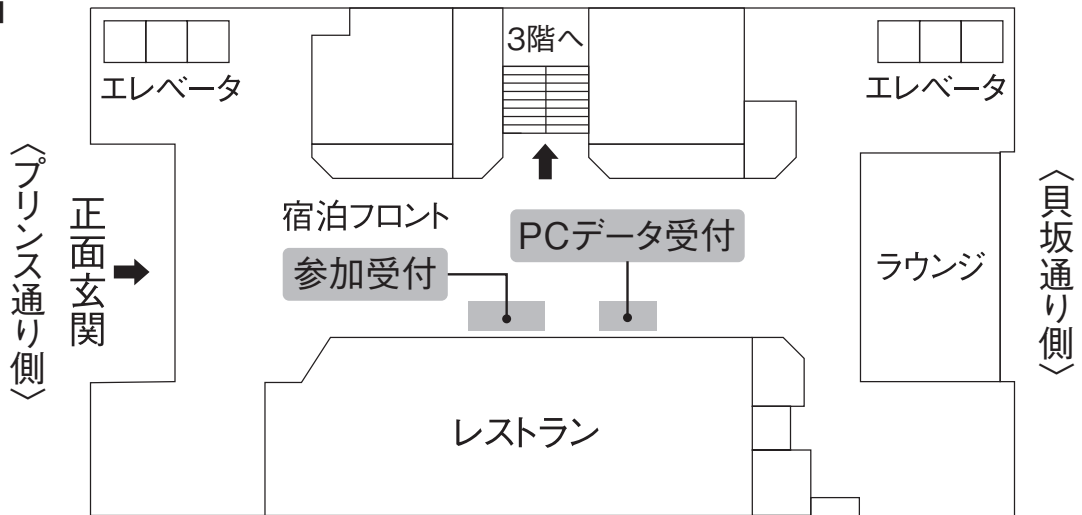
12月3日 (日)

参加受付：8：30～14：30

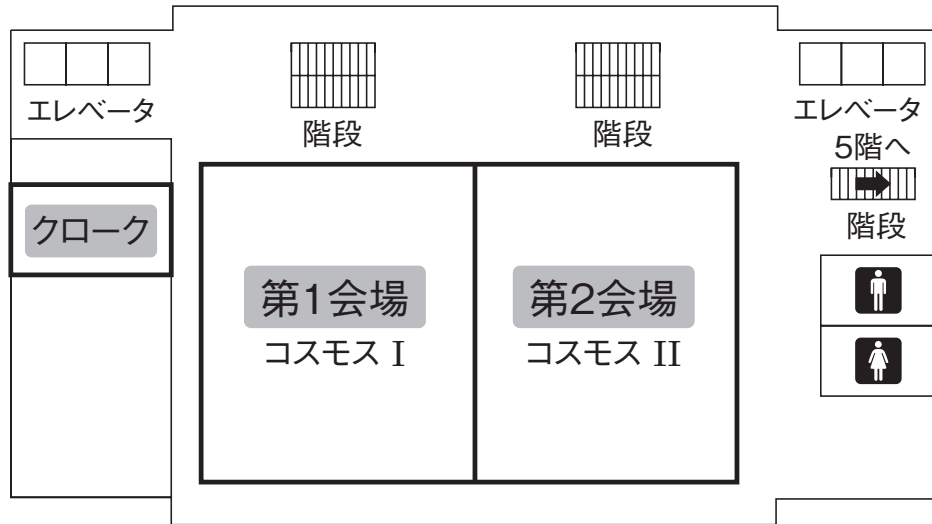
	第1会場 (3F コスモスホールI)	第2会場 (3F コスモスホールII)	第3会場 (5F オリオン)
9:00	9:00～10:50 シンポジウム2 CKD診療ガイドライン2023からみた 糖尿病性腎症治療 座長：馬場園哲也 阿部雅紀 演者：細島康宏 藤井秀毅 大島 恵 深水 圭 田中哲洋	9:00～10:00 一般演題8「臨床5 (バイオマーカー)」 演題番号 0-33～0-37 座長：横山宏樹 的場圭一郎	9:00～9:50 スポンサーセミナー5 座長：榎野博史 演者：四方賢一 共催：田辺三菱製薬株式会社/ 第一三共株式会社
10:00		10:00～10:50 一般演題9「臨床6 (心血管予後)」 演題番号 0-38～0-41 座長：平和伸仁 北田宗弘	10:00～10:50 スポンサーセミナー6 座長：宇都宮一典 演者：川浪大治 共催：住友ファーマ株式会社
11:00	10:50～11:50 一般演題7「臨床4 (フィネレノン)」 演題番号 0-28～0-32 座長：川浪大治 遠山直志	11:00～11:50 一般演題10「臨床7 (疫学研究)」 演題番号 0-42～0-45 座長：花井 豪 椿原美治	11:00～11:50 スポンサーセミナー7 座長：深水 圭 演者：平山智也 岡本 卓 共催：バクスター株式会社
12:00	12:00～12:50 ランチョンセミナー4 座長：馬場園哲也 演者：鈴木 亮 共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	12:00～12:50 ランチョンセミナー5 座長：阿部雅紀 演者：村越真紀 共催：小野薬品工業株式会社/ アストラゼネカ株式会社	12:00～12:50 ランチョンセミナー6 座長：荒木信一 演者：安孫子亜津子 共催：協和キリン株式会社
13:00	13:00～15:00 ワークショップ 糖尿病性腎症の進展抑制を目指して ～チーム医療を有機的に進めるための 療養指導士の役割～ 座長：守屋達美 合田朋仁 演者：美馬 晶 相澤政明 人見麻美子 片山初美	13:00～13:30 教育講演4 糖尿病性腎症病期分類2023 座長：海津嘉蔵 演者：馬場園哲也	
14:00		13:40～14:10 教育講演5 インクレチンと糖尿病性腎症：GLP-1受容体作動薬、 GIP/GLP-1受容体作動薬への期待 座長：森 克仁 演者：矢部大介	
15:00	15:00～15:10 閉会挨拶		
16:00			
17:00			
18:00			

会場案内図

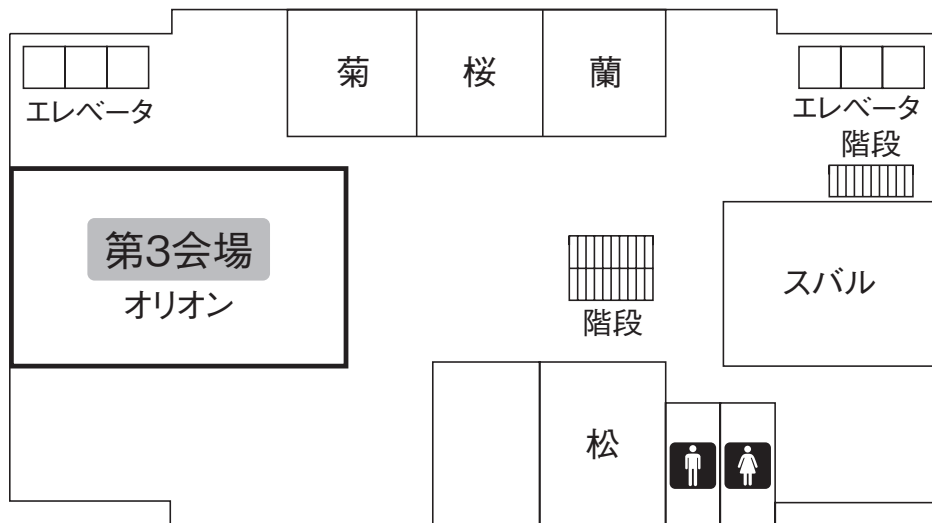
ロビー階



3階



5階



参加者へのご案内

1. 開催形式・日時・参加登録

(1) 開催形式・開催日時

開催形式：現地開催 *ライブ配信・オンデマンド配信はありません

開催日時：12月2日（土）9：55～18：05

12月3日（日）9：00～15：05

(2) 参加費^{*1}

医師・研究者・企業：7,000円（不課税）

医師以外の医療従事者（看護師・薬剤師・栄養士など）：2,000円（不課税）

学生・初期研修医^{*2}：無料

^{*1} 研究会への参加をもって入会となります。

^{*2} 本研究会では、学部学生（医学科・看護学科）、大学院生、医学系・看護系の専門学校学生及び、初期研修医は、参加費無料となります。その際、学生は「在学証明書」を、初期研修医は研修施設より発行された証明書を必ず提出願います。（メールまたはFAXにて、事前にご提出ください。当日参加登録の方は、ご持参のうえ受付にご提出ください。）
後期研修医は有料とさせていただきます。

(3) 参加登録

なるべくオンラインにて参加登録を行ってください。オンライン参加登録について、詳細はホームページをご覧ください。

●オンライン参加登録方法

Payvent のシステムから「オンライン参加登録」を行ってください。

●支払い方法

オンライン参加登録システムでのお支払い方法は、クレジットカードのみ対応可能です。
銀行振込でのお支払いをご希望の場合は、運営事務局までお問合せください。

※クレジットカードは、VISA、MasterCard、American Express、JCB、ダイナース、ディスカバーでのお支払いに対応しています。

●登録完了・領収書・参加証明書・参加受付用 QR コード

参加登録・お支払い完了後、Payvent から届く自動返信メールにボタンが「領収書発行」「参加証明書」が表示されますので、ご自身でダウンロード・印刷をしてください。

なお、参加証明書は現地での参加受付後にダウンロード可能になります。

参加用 QR コードはお支払い完了後のメールに表示されます。印刷のうえご持参いただくか、お手持ちのスマートフォンなどに表示させて参加受付にお越しください。

●参加証（ネームカード）

参加証（ネームカード）は、現地参加受付でお渡しいたします。

※無記名の参加証（ネームカード）です。予めご了承ください。

●キャンセルポリシー

原則、参加登録費支払完了後のキャンセルはできません。二重登録等にご注意ください。お預かりしました参加費は、やむを得ない事情により研究会が開催中止となる場合を除いて返金はいたしませんのでご了承ください。

(4) 当日の参加登録・受付

オンライン参加登録・クレジット支払いが難しい場合は、当日現金での参加登録も受付いたします。

●受付場所・時間

場所：都市センターホテル ロビー階（プリンス通り側 正面玄関）

時間：12月2日（土）9：00～17：30

12月3日（日）8：30～14：30

●ご来場にあたりまして

- ・事前にオンライン参加登録された方は、決済完了メール（Payvent から自動送信）内に表示される参加受付用 QR コードを印刷のうえご持参いただくか、お手持ちのスマートフォンなどに表示させて参加受付にお越しください。
- ・ご来場には公共交通機関をご利用ください。
- ・当日、発熱・感冒症状などで体調が優れない場合は、来場をお控えください。

2. 発表データ受付

受付場所・時間

場所：都市センターホテル ロビー階（プリンス通り側 正面玄関）

時間：12月2日（土）9：00～17：30

12月3日（日）8：30～14：30

3. プログラム・抄録集

参加登録をいただいた方には、当日参加受付で一部お渡しいたします。

4. 取得単位について

(1) 一般社団法人日本糖尿病学会 糖尿病専門医単位

本研究会に参加することにより、一般社団法人日本糖尿病学会糖尿病専門医更新のための単位3単位が取得できます。登録につきましては、後日、一般社団法人日本糖尿病学会にご自身で申請をお願いいたします。

(2) 一般社団法人日本腎臓学会 腎臓専門医更新単位

本研究会に参加することにより、一般社団法人日本腎臓学会腎臓専門医更新のための単位1単位が取得できます。登録につきましては、後日、一般社団法人日本腎臓学会にご自身で申請をお願いいたします。

(3) 一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構 <第2群>研修単位

本研究会に参加することにより、日本糖尿病療養指導士認定更新研修単位<第2群>2単位が取得できます。当日単位受付にて参加者名簿に記入し参加証を受け取りください。参加者名簿の記入必須項目は「氏名」・「認定番号」・「職種」です。

5. 意見交換会

本年の開催はございません。

6. 呼び出し

会場内での呼び出しは、原則として行いません。参加者へのご連絡は会員連絡板をご利用ください。

7. クローク

貴重品はお預かりできませんのでご了承ください。

場所：都市センターホテル 3階

時間：12月2日（土）9：00～18：20

12月3日（日）8：30～15：20

8. 座長の先生へのお願い

座長の方は、プログラムの円滑な進行にご配慮くださいますようお願い申し上げます。会場正面に向かって右側最前列に次座長席を設けておりますので、ご担当のセッション開始10分前までにご着席ください。

9. 演者の先生へのお知らせ

(1) 発表時間

指定演題（シンポジウム/ワークショップ/教育講演）：別途ご連絡しております。

一般演題：口演8分、質疑応答4分です。

(2) 発表データについて

1) 本研究会はPC発表のみといたします。スクリーンは会場に合わせたサイズの1面のみです。

2) データの作成にあたってのお願い

・Windows利用の講演者はWindows PowerPointにて発表データを作成しUSBメモリに保存したものを「PCデータ受付」にお持ちください。Macにて発表をご希望の講演者はご自身のPC持参による発表のみとなります。PC持込の方で専用の外部出力ケーブルが必要な場合は、必ずご自身で持参してください。

なお、保存データはご自身のPC以外でも文字化け等がなく、データを読み込めるかどうかを事前に確認してください。

※バックアップ用としてお手持ちのノートパソコンをご持参いただくことを推奨いたします。

・文字フォントはPowerPointに設定されている標準的なフォントのみをご用意いたします。

（例）日本語の場合：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝 など

英語の場合：Times New Roman、Century、Century Gothic、Arial、Symbol など

- ・研究会当日に会場に設置される機材スペック
〔アプリケーション〕 Windows 版 Microsoft PowerPoint (Microsoft (Office) 365)
- ・推奨スライドサイズ：16：9
- ・アニメーション・動画の使用は可能です。バックアップ用として、ご自身の PC をご持参ください。
- ・PC の外部出力はミラーリング（複製）になります。拡張（発表者ツール）は使用できません。
- ・研究会当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーパッド・マウスを操作していただきます。
- ・PC データ受付でのチェック終了後、会場内の次演者席へ 10 分前までにお越しください。

(3) 利益相反 (COI) 開示について

発表者は各自の所属学会の規定に則って利益相反状態の申告をお願いいたします。

所属されている学会に利益相反開示規定がない場合は、一般社団法人日本糖尿病学会もしくは一般社団法人日本腎臓学会の規定に従ってください。

10. 関連会議

- ・世話人会

別途ご案内します

- ・幹事会

時間：12月2日（土）9：00～9：50

場所：都市センターホテル 5階 スバル

詳細は別途ご案内します

第 34 回日本糖尿病性腎症研究会プログラム

12月2日（土）

【第 1 会場（3F コスモスホール I）】

9：55～10：00 開会挨拶

10：00～10：50 一般演題 1 「臨床 1（治療）」

座長：小川 晋（東北大学高度教養教育学生支援機構臨床医学開発室）

豊田雅夫（東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科）

O-01. 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病患者におけるダパグリフロジンの処方実態

株式会社ユカリア デジタル事業本部 データインテリジェンス事業部

○田中大一（たなか まさかず） 塩井大智 新村和久 今西是裕

O-02. 2型糖尿病患者における血清シスタチン C の腎症診断の予知マーカーの検討～ダパグリフロジン治療効果の検討

母恋 天使病院 糖尿病・代謝センター

○吉田和博（よしだ かずひろ） 崎山信哉 林下晶子 高階知紗 辻 昌宏 中谷資隆

O-03. SGLT2 阻害薬は DPP-4 阻害薬に比し糖尿病性腎臓病早期患者の腎機能を介入早期から保護する

川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学¹⁾

川崎医科大学 総合内科学²⁾

医療法人社団 幸正会 岩本内科医院³⁾

○下田将司（しもだ まさし¹⁾ 片倉幸乃¹⁾ 岩本正博³⁾ 中西修平¹⁾ 阿武孝敏²⁾

木村有紀子²⁾ 木村友彦¹⁾ 宗 友厚¹⁾ 加来浩平²⁾ 金藤秀明¹⁾

O-04. 実臨床の糖尿病薬治療は脳卒中発症時の高度腎機能障害を予防できたか

湘南鎌倉総合病院

○森 貴久（もり たかひさ） 矢野鉄人 吉岡和博 宮崎雄一

11：00～11：50 一般演題 2 「臨床 2（治療）」

座長：宇津 貴（日本生命済生会 日本生命病院 腎臓内科）

林 晃正（大阪急性期・総合医療センター）

O-05. SGLT2 阻害薬が eGFR Slope へ与える影響の検討

まごめ内科・腎クリニック

○井上禎子（いのうえ ていこ） 井野文美 肥後 望 ラバレット美香

O-06. 微量アルブミン尿期の糖尿病性腎症に対する SGLT2 阻害薬の有効性の検討 (CANPIONE study)

岡山大学病院 新医療研究開発センター¹⁾

Department of Clinical Pharmacy and Pharmacology, University of Groningen²⁾

○宮本 聡 (みやもと さとし)¹⁾ Hidido J.L. Heerspink²⁾ Dick de Zeeuw²⁾ 四方賢一¹⁾

O-07. 2型糖尿病患者の腎機能低下に対する SGLT2 阻害薬と DPP-4 阻害薬の比較 (第2報)

東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科

○吉田直史 (よしだ なおし) 花井 豪 森 友実 山本 唯 馬場園哲也

O-08. カナグリフロジンの腎酸素化への影響—2型糖尿病での blood oxygenation level-dependent (BOLD) MRI での検討—

大阪公立大学大学院 医学系研究科 腎臓病態内科学¹⁾

埼玉医科大学 医学部 腎臓内科²⁾

大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学³⁾

埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科⁴⁾

大阪公立大学大学院 医学研究科 医療統計学⁵⁾

埼玉医科大学病院 放射線科⁶⁾

大阪公立大学大学院 医学研究科 放射線診断学・IVR学⁷⁾

○森 克仁 (もり かつひと)¹⁾ 井上 勉²⁾ 上殿英記³⁾ 石川雅浩⁴⁾ 谷内颯樹⁵⁾

小林直樹⁴⁾ 小澤栄人⁶⁾ 三木幸雄⁷⁾ 岡田浩一²⁾ 繪本正憲^{1,3)}

12:10~13:00 ランチオンセミナー 1

共催：バイエル薬品株式会社

座長：和田 淳 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 腎・免疫・内分泌代謝内科学)

「2型糖尿病合併慢性腎臓病患者の治療戦略～炎症・線維化へのアプローチ～」

虎の門病院 腎センター内科

山内 真之 (やまのうち まさゆき)

13:05~13:15 研究会からの連絡

13:15~15:20 シンポジウム 1

糖尿病性腎症の予後改善に向けて～治療戦略最前線～

座長：和田隆志 (金沢大学)

四方賢一 (岡山大学病院新医療研究開発センター)

SY1-1. 糖尿病性腎症の早期治療介入を目指したバイオマーカーの開発と治療標的への応用

日本大学 医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野

小林洋輝 (こばやし ひろき)

SY1-2. 糖尿病性腎症と腸内細菌叢

金沢大学 腎臓・リウマチ膠原病内科学¹⁾

金沢大学附属病院 臨床検査部²⁾

金沢大学附属病院 管理栄養部³⁾

○岩田恭宜 (いわた やすのり)¹⁾ 中出祐介^{1,2)} 徳丸季聡^{1,3)} 和田隆志¹⁾

SY1-3. 糖尿病における尿細管細胞の代謝制御の破綻を標的とした治療戦略

島根大学 医学部内科学講座内科学第一

金崎啓造 (かなさき けいぞう)

SY1-4. オルガネラストレスを伴う脂質代謝異常と尿細管障害

東京大学大学院 医学系研究科 CKD病態生理学講座

稲城玲子 (いなぎ れいこ)

SY1-5. J-CKD-DB から見える糖尿病性腎臓病の治療戦略

川崎医科大学 腎臓高血圧内科学

長洲 一 (ながす はじめ)

**15：30～17：00 特別企画
新規 CKD 治療薬と糖尿病性腎症**

座長：柏原直樹 (川崎医科大学高齢者医療センター/川崎医科大学)

荒木信一 (和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座)

SP-1. SGLT2 阻害薬と近位尿細管細胞機能

岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学

○和田 淳 (わだ じゅん) 中司敦子 三瀬広記

SP-2. 非ステロイド型ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬を中心とした新たな慢性腎臓病治療への期待

国際医療福祉大学三田病院 腎臓・高血圧内科

佐藤敦久 (さとう あつひさ)

SP-3. 糖尿病腎症に対するサクビトリル/バルサルタン (ARNI) の有用性

自治医科大学 内科学講座腎臓内科学部門

長田太助 (ながた だいすけ)

17：15～18：05 イブニングセミナー 1

共催：テルモ株式会社

座長：片山茂裕 (埼玉医科大学/埼玉医科大学かわごえクリニック)

「CGM による血糖管理を再考する～リアルタイム CGM への期待～」

東海大学医学部 腎内分泌代謝内科

豊田雅夫 (とよだ まさお)

【第2会場 (3F コスモスホール II)】

10:00~10:50 一般演題3 「臨床3 (腎病理)」

座長：守屋達美 (北里大学健康管理センター)

守矢英和 (湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター)

O-09. 多量の蛋白尿が加療にて著減した糖尿病性腎症の1腎生検例

三重北医療センター 菰野厚生病院 内科¹⁾

JCHO 四日市羽津医療センター 腎臓内科²⁾

信州大学 病理³⁾

○三木 真 (みき まこと)¹⁾ 三宅真人²⁾ 名和俊平²⁾ 水谷安秀²⁾ 江原孝史³⁾

O-10. DPP-4 阻害薬使用中に TMA-like の糸球体内皮細胞傷害を呈した症例の検討

嬉野医療センター腎臓内科¹⁾

虎の門病院腎センター内科²⁾

同病理部³⁾

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科人体病理学分野⁴⁾

山口腎病理研究所⁵⁾

○末永敦彦 (すえなが あつひこ)¹⁾ 大庭悠貴²⁾ 井熊大輔²⁾ 水野裕基²⁾ 関根章成²⁾

長谷川詠子²⁾ 山内真之²⁾ 諏訪部達也²⁾ 河野 圭³⁾ 大橋健一^{3,4)} 山口 裕⁵⁾ 和田健彦²⁾

乳原善文²⁾ 澤 直樹²⁾

O-11. 糖尿病性腎症の RPS 分類 ClassIV における Kimmelstiel-Wilson 結節の腎予後への影響

千葉東病院¹⁾

みはま病院²⁾

かわぐちミエルカクリニック³⁾

○田邊 淳 (たなべ じゅん)¹⁾ 川口武彦¹⁾ 福田亜純²⁾ 山川貴史³⁾ 諸岡瑞穂¹⁾

山内真理子¹⁾ 柴田友莉子¹⁾ 大村弘輝¹⁾ 首村守俊¹⁾ 北村博司¹⁾ 今澤俊之¹⁾

O-12. 糖尿病性腎症患者の腎生検検体を用いた腎 PKM2 発現に関する検討

福岡大学 医学部 内分泌・糖尿病内科学¹⁾

福岡大学 医学部病理学²⁾

福岡大学 医学部腎臓・膠原病内科学³⁾

○横溝 久 (よこみぞ ひさし)¹⁾ 川波賢子¹⁾ 牟田芳実¹⁾ 高士祐一¹⁾ 上杉憲子²⁾

升谷耕介³⁾ 川浪大治¹⁾

11:00~12:00 一般演題4「基礎1(分子病態)」

座長：金崎啓造（島根大学 医学部内科学講座 内科学第一）
小林洋輝（日本大学 医学部 腎臓高血圧内分泌内科）

O-13. PKM2 活性化は細胞老化の抑制を介して酸化ストレスによる尿細管細胞死を制御する可能性がある

島根大学 医学部 内科学講座 内科学第一

○石原慎一郎（いしはら しんいちろう） Imrul Kayes 川北恵美 金崎啓造

O-14. 尿中電解質の調節機構における尿細管 ROCK2 の役割を明らかにする

東京慈恵会医科大学 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科¹⁾

医療法人財団慈生会野村病院²⁾

○関口賢介（せきぐち けんすけ）¹⁾ 的場圭一郎¹⁾ 大橋慎史¹⁾ 光吉悦子¹⁾ 永井洋介¹⁾
竹田裕介¹⁾ 宇都宮一典²⁾ 西村理明¹⁾

O-15. フラクトオリゴ糖による腸バリア機能の増大と2型糖尿病マウスの腎症進展抑制との関連

山梨大学 医工農学総合教育部 生命環境学専攻

○原澤 彩（はらさわ あや） 石山詩織 望月和樹

O-16. 飼育環境・食事変化に伴う腸内細菌叢の変化が糖尿病マウスの腎障害へ及ぼす影響

順天堂大学 腎臓内科学講座¹⁾

順天堂大学 プロバイオティクス研究講座²⁾

○越田剛生（こしだ たけお）¹⁾ 合田朋仁¹⁾ 下澤健太¹⁾ 村越真紀¹⁾ 山城雄一郎²⁾
鈴木祐介¹⁾

O-17. 糖尿病モデルマウスの腎障害における選択的 PPAR α モジュレーターの効果

千葉大学大学院 医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学

○前澤善朗（まえざわ よしろう） 井出真太郎 山口彩乃 佐藤哲太 寺本直弥
井出佳奈 横手幸太郎

12:10~13:00 ランチオンセミナー2

共催：アステラス製薬株式会社/寿製薬株式会社

座長：金崎啓造（島根大学医学部 内科学講座内科学第一）

「DKD 重症化予防のために今取り組むべきこと～薬剤選択からチーム医療まで～」

東海大学医学部 内科学系 腎内分泌代謝内科

豊田雅夫（とよだ まさお）

13：15～14：05 スポンサーードセミナー 1

共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス

座長：鈴木芳樹（JR 東日本新潟健康推進センター）

「生活習慣病と慢性腎臓病に潜む低亜鉛血症」

東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科

丸山之雄（まるやま ゆきお）

14：15～15：05 スポンサーードセミナー 2

共催：鳥居薬品株式会社

座長：海津嘉蔵（医療法人海の弘毅会新北九州腎臓クリニック）

「糖尿病性腎症患者における貧血治療」

東京女子医科大学 内科学講座 腎臓内科学分野

星野純一（ほしの じゅんいち）

15：10～15：40 教育講演 1

座長：阿部雅紀（日本大学医学部内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野）

EL1. 循環器内科学目線で糖尿病性腎症を考えると見える「できていない」心不全治療～この会だからこそ言える本音～

国際医療福祉大学大学院 医学研究科循環器内科

岸 拓弥（きし たくや）

15：50～16：20 教育講演 2

座長：鶴屋和彦（奈良県立医科大学 腎臓内科学）

EL2. 糖尿病性腎症の食事療法—エネルギーとたんぱく質の考え方とトピックス—

JR東日本新潟健康推進センター¹⁾

新潟大学医歯学総合病院腎・膠原病内科²⁾

鈴木芳樹（すずき よしき）^{1,2)}

16：30～17：00 教育講演 3

座長：赤井裕輝（東北医科薬科大学 若林病院 糖尿病内科）

EL3. 高齢者糖尿病診療ガイドライン 2023

東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科

荒木 厚（あらか あつし）

17:15~18:05 イブニングセミナー2

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社

座長：羽田勝計（旭川医科大学）

「ESKD 発症予防を考慮した DKD 治療における SGLT2 阻害薬の役割」

順天堂大学 腎臓内科

合田朋仁（ごうだ ともひと）

【第3会場（5F オリオン）】

9:00~9:50 幹事会【5F スバル】

10:00~11:00 一般演題5「基礎2（分子病態）」

座長：山岸昌一（昭和大学医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）

齋藤亮彦（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 機能分子医学講座）

O-18. 糖尿病性腎臓病における RAGE 経路を介した ncRNA による腎線維化の制御

順天堂大学 医学部腎臓内科¹⁾

Monash University²⁾

Baker Heart and Diabetes Institute³⁾

はぎわらクリニック⁴⁾

○萩原晋二（はぎわら しんじ）^{1,4)} 岡部 潤^{2,3)} 作間宏子¹⁾ 村越真紀¹⁾ 合田朋仁¹⁾

鈴木祐介¹⁾

O-19. フルクトース過剰摂取が及ぼす糖尿病性腎症（DN）進行に関わる分子メカニズムの解明

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科

○霍田裕明（つるた ひろあき） 山原真子 吉林 護 桑形尚吾 山原康佑 佐々木裕紀

金崎雅美 久米真司

O-20. 糖尿病性腎臓病における内皮/上皮病態連関、NO/sGC 活性化不全の解明

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学

○梶本恵莉子（かじもと えりこ） 高須将伸 立川理絵 岩倉 主 梅野怜奈 城所研吾

岸 誠司 長洲 一 佐々木環 柏原直樹

O-21. NDUF54 Regulates Cristae Remodeling in Diabetic Kidney Disease

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎免疫内分泌代謝内科学¹⁾

The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Nephrology Section²⁾

○三瀬広記（みせ こうき）^{1,2)} Jianyin Long²⁾ Daniel Galvan²⁾ 和田 淳¹⁾ Benny Chang²⁾

Farhad Danesh²⁾

O-22. DKD における Nucleobindin-2 の尿細管細胞に及ぼす効果及びそのメカニズムについて
近畿大学 医学部 腎臓内科

○中谷嘉寿（なかに よしひさ） 岡田宣孝 古林法大 園 陽平 中野志仁 有馬秀二

11:00~12:00 一般演題6「基礎3（薬理機序）」

座長：井口登與志（福岡市医師会 福岡市健康づくりサポートセンター）

深水 圭（久留米大学 医学部 内科学講座 腎臓内科部門）

O-23. 培養ポドサイトの大量移植による糖尿病性腎症の細胞治療法開発の試み

東海大学 医学部腎内分泌代謝内科

○澤田佳一郎（さわだ かいちろう） 勝田芳樹 松田陽介 木村守次 豊田雅夫

O-24. SGLT2 阻害薬は急性腎障害後の尿細管障害を軽減する

千葉大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科¹⁾

千葉大学大学院 医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学²⁾

○井出真太郎（いで しんたろう）^{1,2)} 前澤善朗^{1,2)} 井出佳奈^{1,2)} 佐藤哲太^{1,2)} 山口彩乃^{1,2)}
寺本直弥^{1,2)} 横手幸太郎^{1,2)}

O-25. 糖尿病性腎障害ラットに対する SGLT2 阻害薬と Nrf2 活性薬の併用効果

久留米大学 医学部内科学講座腎臓内科部門¹⁾

久留米大学 医学部質量分析医学応用研究施設²⁾

日本クレア株式会社³⁾

○太田寛二（おおた かんじ）¹⁾ 田口顕正^{1,2)} 篠原雅巳³⁾ 深水 圭¹⁾

O-26. 糖尿病性腎症モデル動物を用いた SGLT2 阻害薬使用時における尿中メガリン排泄量の推移の検討

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学講座¹⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 機能分子医学講座²⁾

JR東日本新潟健康推進センター³⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学⁴⁾

○細島康宏（ほそじま みちひろ）¹⁾ 蒲澤秀門¹⁾ 後藤佐和子²⁾ 竹本和矢²⁾ 小餅耕一¹⁾
鈴木芳樹³⁾ 成田一衛⁴⁾ 斎藤亮彦²⁾

O-27. エンパグリフロジンはメガリン介在性アルブミン-脂肪酸毒性に伴うオートファジー停滞を解消し腎保護に働く

大阪大学

○松井 翔（まつい しょう） 山本毅士 高畠義嗣 猪阪善隆

12：10～13：00 ランチョンセミナー3
糖尿病性腎症へのLDLアフェレシスを考える

共催：株式会社カネカメディックス

座長：和田隆志（金沢大学）

1. 鈴木 智（亀田総合病院腎臓高血圧内科）
2. 宮田仁美（京都桂病院腎臓内科）

13：15～14：05 スポンサーセミナー3

共催：大塚製薬株式会社

座長：丸山高史（日本大学医学部内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野）

「糖尿病合併高血圧診療における課題とARNIの役割」

自治医科大学附属さいたま医療センター 内分泌代謝科

原 一雄（はら かずお）

14：15～15：05 スポンサーセミナー4

共催：ニプロ株式会社

座長：酒井 謙（東邦大学医学部腎臓学講座）

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドラインの改訂～透析室で求められる感染対策のポイント～」

医療法人社団豊済会 下落合クリニック

菊地 勘（きくち かん）

12月3日(日)

【第1会場(3F コスモスホール I)】

9:00~10:50 シンポジウム2

CKD診療ガイドライン2023からみた糖尿病性腎症治療

座長:馬場園哲也(東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野)

阿部雅紀(日本大学医学部内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野)

SY2-1. 食事療法の重要性~たんぱく質および食塩摂取量の管理を中心に~

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 病態栄養学¹⁾

JR東日本新潟健康推進センター²⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 機能分子医学³⁾

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学⁴⁾

○細島康宏(ほそじま みちひろ)¹⁾ 蒲澤秀門¹⁾ 鈴木芳樹²⁾ 斎藤亮彦³⁾ 成田一衛⁴⁾

SY2-2. 糖尿病における高血圧治療

神戸大学大学院 医学研究科 腎臓内科学

藤井秀毅(ふじい ひでき)

SY2-3. 糖尿病性腎症患者における腎硬化症の合併と治療

金沢大学 医薬保健研究域医学系 腎臓・リウマチ膠原病内科学

○大島 恵(おおしま めぐみ) 岩田恭宜 和田隆志

SY2-4. CKD診療ガイドラインから見たCKDに対する薬物療法

久留米大学 医学部内科学講座腎臓内科部門

深水 圭(ふかみ けい)

SY2-5. CKD診療ガイドライン2023からみる腎性貧血治療のプラクティスポイント

東北大学 医学部 腎・膠原病・内分泌内科学分野

田中哲洋(たなか てつひろ)

10:50~11:50 一般演題7「臨床4(フィネレノン)」

座長:川浪大治(福岡大学 医学部 内分泌・糖尿病内科学)

遠山直志(金沢大学大学院 腎臓・リウマチ膠原病内科学)

O-28. 糖尿病性腎臓病における非ステロイド系ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬による腎保護機序の解明

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学¹⁾

川崎医科大学 高齢者医療センター²⁾

○岩倉 主(いわくら つかさ)¹⁾ 城所研吾¹⁾ 立川理絵¹⁾ 高須将伸¹⁾ 梶本恵莉子¹⁾

平野 憲¹⁾ 梅野怜奈¹⁾ 岸 誠司¹⁾ 長洲 一¹⁾ 佐々木環¹⁾ 柏原直樹²⁾

O-29. フィネレノンを含む集学的治療が 2 型糖尿病合併 CKD 進展に著効した 1 例、及び 6 例の解析結果

島根大学 医学部 内科学講座内科学第一

○山尾有加 (やまお ゆか) 守田美和 四方田美和子 野津雅和 山本昌弘 金崎啓造

O-30. Effect of finerenone in patients with chronic kidney disease and type 2 diabetes by baseline anaemia status : A FIDELITY analysis

Department of Kidney Disease and Hypertension, Osaka General Medical Center, Osaka, Japan¹⁾

Renal Division, Harvard Medical School, Harvard University, Boston, MA, USA²⁾

Department of Cardiology (CVK), and Berlin Institute of Health Center for Regenerative Therapies, German Centre for Cardiovascular Research Partner Site Berlin, Charité Universitätsmedizin, Berlin, Germany³⁾

National and Kapodistrian University of Athens, School of Medicine, Department of Cardiology, Attikon University Hospital, Athens, Greece⁴⁾

Department of Medicine, University of Michigan School of Medicine, Ann Arbor, MI, USA⁵⁾
Steno Diabetes Center Copenhagen, Herlev, Denmark⁶⁾

Cardiorenal Translational Laboratory and Hypertension Unit, Institute of Research imas12, Madrid, Spain⁷⁾

Cardiovascular and Renal United States Medical Affairs, Bayer U.S. LLC, USA⁸⁾
Clinical Development, Bayer PLC, Reading, UK⁹⁾

Department of Medicine, University of Chicago Medicine, Chicago, IL, USA¹⁰⁾

○Terumasa Hayashi¹⁾ Ajay Singh²⁾ Stefan D. Anker³⁾ Gerasimos Filippatos⁴⁾
Bertram Pitt⁵⁾ Peter Rossing⁶⁾ Luis M. Ruilope⁷⁾ Youssef M.K. Farag⁸⁾ Luke Roberts⁹⁾
George L. Bakris¹⁰⁾ on behalf of the FIDELIO-DKD and FIGARO-DKD Investigators

O-31. Impact Of Finerenone On Cardiac Biomarkers In Patients With T2D And Chronic Kidney Disease

Bayer AG, Research and Development, Pharmaceuticals Precision Medicine Markers¹⁾
Kawagoe Clinic, Saitama Medical University²⁾

Bayer Hispania SL, Barcelona, Spain³⁾

CHRESTOS Concept GmbH & Co. KG, Essen, Germany⁴⁾

Univ de Lorraine, Nancy, France⁵⁾

Steno Diabetes Ctr Copenhagen, Herlev, Denmark⁶⁾

Mario Berger¹⁾ ○Shigehiro Katayama²⁾ Andrea Scalise³⁾ Frank M Kramer¹⁾

Laura Goea¹⁾ Peter Kolkhof¹⁾ Adam Skubala¹⁾ Sebastian Voss⁴⁾ Faiez Zannad⁵⁾

Peter Rossing⁶⁾

O-32. FIGARO-BM, a biomarker study to FIGARO-DKD, reveals new insights into the mode-of-action of finerenone

Bayer AG, Research and Development, Pharmaceuticals Precision Medicine Markers¹⁾
Department of Nephrology and Laboratory Medicine, Kanazawa University, Ishikawa, Japan²⁾

Bayer Hispania SL, Pharmaceutical Development, Barcelona, Spain³⁾

CHRESTOS Concept GmbH & Co. KG, Essen, Germany⁴⁾

UCSD, Department of Medicine, San Diego, California, U.S.A⁵⁾

Steno Diabetes Center Copenhagen, Herlev, and University of Copenhagen, Copenhagen, Denmark⁶⁾

University Medical Center Groningen, Department of Clinical Pharmacy and Pharmacology, Groningen, The Netherlands⁷⁾

Université de Lorraine, Nancy, France⁸⁾

Mario Berger¹⁾ ○Takashi Wada²⁾ Peter Kolkhof¹⁾ Aidan MacNamara¹⁾

Andrea Scalise³⁾ Sebastian Voss⁴⁾ Joachim H. Ix⁵⁾ Peter Rossing⁶⁾ Hiddo J Heerspink⁷⁾

Faiez Zannad⁸⁾

12 : 00～12 : 50 ランチオンセミナー 4

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：馬場園哲也（東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野）

「合併症・併存症予防を目指す糖尿病治療」

東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野

鈴木 亮（すずき りょう）

13 : 00～15 : 00 ワークショップ

糖尿病性腎症の進展抑制を目指して～チーム医療を有機的に進めるための療養指導士の役割～

座長：守屋達美（北里大学健康管理センター）

合田朋仁（順天堂大学医学部腎臓内科）

WS-1. 多職種による患者コミュニケーションの重要性—保存期 CKD 患者の経験と日常における負担から考える—

大阪医科薬科大学 腎臓内科¹⁾

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社²⁾

一般社団法人PPI JAPAN³⁾

一般社団法人ピーベック⁴⁾

○美馬 晶（みま あきら）¹⁾ 八木伸高^{2,3)} 宿野部武志⁴⁾ 西村誠一郎²⁾

WS-2. 縦の糸はあなた 横の糸は薬剤師 織りなす布はチーム医療

ガーデン薬局

相澤政明（あいざわ まさあき）

WS-3. 管理栄養士の立場から 日本糖尿病療養指導士としてすべきこと

北里大学病院 栄養部

○人見麻美子（ひとみ まみこ） 比企直樹

WS-4. 現状と課題—糖尿病療養指導士・腎臓病療養指導士の立場から—

近江八幡市立総合医療センター 看護部

片山初美（かたやま はつみ）

15：00～15：10 閉会挨拶

【第2会場（3F コスモスホールII）】

9：00～10：00 一般演題8「臨床5（バイオマーカー）」

座長：横山宏樹（自由が丘横山内科クリニック）

的場圭一郎（東京慈恵会医科大学 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科）

O-33. 腎機能正常の2型糖尿病患者と健常人における血中TNF受容体濃度

順天堂大学 腎臓内科¹⁾

広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科²⁾

○合田朋仁（ごうだ ともひと）¹⁾ 村越真紀¹⁾ 下澤建太¹⁾ 越田剛生¹⁾ 鈴木祐介¹⁾

亀井 望²⁾

O-34. 腎細動脈硝子化は2型糖尿病患者における顕性アルブミン尿と腎機能低下の双方の発症を予測する

北里大学 医学部 内分泌代謝内科学¹⁾

北里大学 健康管理センター²⁾

○鈴木陽彦（すずき あきひこ）¹⁾ 井上光子²⁾ 松原まどか²⁾ 宮塚 健¹⁾ 守屋達美²⁾

O-35. 糖尿病性腎症の腎予後予測における血清β2-ミクログロブリンの有用性

奈良県立医科大学 腎臓内科学¹⁾

奈良県西和医療センター 腎臓内科²⁾

奈良県総合医療センター 腎臓内科³⁾

○上村貴之（うえむら たかゆき）¹⁾ 西本雅俊¹⁾ 江里口雅裕¹⁾ 玉城裕行¹⁾ 田崎 光¹⁾

古山理莉¹⁾ 孤杉公啓¹⁾ 森本勝彦²⁾ 松井 勝³⁾ 鮫島謙一¹⁾ 鶴屋和彦²⁾

O-36. CRIC（Chronic Renal Insufficiency Cohort）における糖尿病性腎臓病の血中バイオマーカーについての検討

日本大学 医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野¹⁾

ハーバード大学医学校 ジョスリン糖尿病センター²⁾

○小林洋輝（こばやし ひろき）¹⁾ 佐竹栄一郎²⁾ Zaipul I. Md Dom²⁾ Andzej Krolewski²⁾

阿部雅紀¹⁾

O-37. 糖尿病性腎臓病における ESKD 発症予測の新指標：プロテオーム解析による血中蛋白の経時的変化についての検討

日本大学 医学部 内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野¹⁾

ハーバード大学医学校 ジョスリン糖尿病センター²⁾

○小林洋輝 (こばやし ひろき)¹⁾ 佐竹栄一郎²⁾ Zaipul I. Md Dom²⁾ Andzej Krolewski²⁾
阿部雅紀¹⁾

10:00~10:50 一般演題9 「臨床6 (心血管予後)」

座長：平和伸仁 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 腎臓・高血圧内科)

北田宗弘 (医療法人 以心会 浜田脳神経外科・内科)

O-38. 60歳代のどのような患者に心血管イベントが発症するか？

和歌山労災病院 臨床検査科¹⁾

和歌山労災病院 内科²⁾

○大星隆司 (おおほし たかし)^{1,2)} 丸山杏奈²⁾ 三長敬昌²⁾ 中尾隆太郎²⁾ 若崎久生²⁾
中 啓吾²⁾ 南條輝志男²⁾

O-39. 糖尿病性腎臓病における腎病理所見と心血管予後との関連

金沢大学大学院 腎臓内科学¹⁾

金沢医科大学 腎臓内科学²⁾

虎の門病院 腎センター内科³⁾

○清水美保 (しみず みほ)¹⁾ 古市賢吾²⁾ 遠山直志¹⁾ 岩田恭宜¹⁾ 山内真之³⁾ 星野純一³⁾
乳原善文³⁾ 和田隆志¹⁾

O-40. 血液透析患者における心血管疾患バイオマーカーの検討～糖尿病と非糖尿病との比較～

弘前大学大学院 保健学研究科 看護学領域¹⁾

弘前大学 医学部附属病院 総合診療部²⁾

公益社団法人 鷹揚郷腎研究所弘前病院³⁾

○中村典雄 (なかむら のりお)¹⁾ 大沢 弘²⁾ 蔦谷千佳子³⁾ 齋藤久夫³⁾ 鈴木唯司³⁾

O-41. 糖尿病性腎臓病 (DKD) の heterogeneity

名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎臓内科学分野

○水野晶紫 (みずの まさし) 春日井貴久 友斉達也 小野水面 村島美穂 濱野高行

11:00~11:50 一般演題10「臨床7（疫学研究）」

座長：花井 豪（東京女子医科大学 内科学講座糖尿病・代謝内科学分野）

椿原美治（滋慶医療科学大学大学院）

O-42. 慢性腎臓病患者における末期腎不全発症予測モデルの開発：糖尿病患者を対象とした予測モデルとの比較

福岡市医師会 福岡市健康づくりサポートセンター¹⁾

九州大学病院メディカルインフォメーションセンター²⁾

○井口登與志（いのぐち とよし）¹⁾ 奥井 佑²⁾ 野尻千夏²⁾ 中島直樹²⁾

O-43. 蛋白尿が腎機能低下速度に及ぼす影響とCKDの原疾患との関連—BRIGHTEN研究サブ解析結果から—

順天堂大学 腎臓内科¹⁾

医療イノベーション推進センター²⁾

金沢大学³⁾

JR仙台病院 内科⁴⁾

新潟大学 腎・膠原病内科⁵⁾

○村越真紀（むらこし まき）¹⁾ 合田朋仁¹⁾ 鈴木祐介¹⁾ 鍵村達夫²⁾ 和田隆志³⁾

佐藤 博⁴⁾ 成田一衛⁵⁾

O-44. 都市部地域住民を対象とする耐糖能レベル別による推定糸球体ろ過量区分頻度に関する疫学研究：吹田研究

国立循環器病研究センター 健診部¹⁾

東京医科大学検診予防医学センター²⁾

国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科³⁾

大阪大学大学院 医学系研究科公衆衛生学⁴⁾

同志社女子大学 生活科学研究科食物栄養科学専攻⁵⁾

大阪大学大学院 医学系研究科保健学科⁶⁾

○小久保喜弘（こくぼ よしひろ）¹⁾ 松本知沙^{1,2)} 松尾実紀³⁾ 川内はるな^{1,4)} 安井裕香^{1,5)}

加藤有花^{1,6)} 野坂咲耶¹⁾ 佐々木明子¹⁾ 寺本将行¹⁾ 吉原史樹³⁾

O-45. 本邦実臨床におけるKDIGO分類毎の臨床転帰に関する後ろ向きコホート研究：REAL CKD研究

東北大学大学院 医学系研究科 腎・膠原病・内分泌内科学分野¹⁾

アストラゼネカ株式会社²⁾

名古屋大学大学院 医学系研究科 腎臓内科学³⁾

○田中哲洋（たなか てつひろ）¹⁾ 秋山博紀²⁾ 坂本 旭²⁾ 坪田博雄²⁾ 丸山彰一³⁾

12:00~12:50 ランチョンセミナー5

共催：小野薬品工業株式会社/アストラゼネカ株式会社

座長：阿部雅紀（日本大学医学部腎臓高血圧内分泌内科学分野）

「ダパグリフロジンのCKD診療における意義について：実践と復習」

順天堂大学大学院医学研究科腎臓内科学

村越真紀（むらこし まき）

13:00~13:30 教育講演4

座長：海津嘉蔵（医療法人海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック）

EL4. 糖尿病性腎症病期分類 2023

東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野

馬場園哲也（ばばその てつや）

13:40~14:10 教育講演5

座長：森 克仁（大阪公立大学大学院 医学研究科 腎臓病態内科学）

EL5. インクレチンと糖尿病性腎症：GLP-1 受容体作動薬、GIP/GLP-1 受容体作動薬への期待

東海国立大学機構 岐阜大学医学系研究科 糖尿病・内分泌代謝内科学/膠原病免疫内科学¹⁾

東海国立大学機構 One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点²⁾

矢部大介（やべ だいすけ）^{1,2)}

【第3会場（5F オリオン）】

9:00~9:50 スポンサーセミナー5

共催：田辺三菱製薬株式会社/第一三共株式会社

座長：楨野博史（香川県病院事業管理者/岡山大学）

「糖尿病性腎症進展抑制を目指した治療戦略」

岡山大学病院新医療研究開発センター

四方賢一（しかた けんいち）

10:00~10:50 スポンサーセミナー6

共催：住友ファーマ株式会社

座長：宇都宮一典（医療法人財団慈生会野村病院/東京慈恵会医科大学）

「2型糖尿病合併CKDの成因と治療～イメグリミンへの期待を含めて～」

福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科学

川浪大治（かわなみ だいじ）

11：00～11：50 スポンサーセミナー7

医療連携で実現できる「おうち透析(腹膜透析)」の新しいかたち
～かかりつけ医でも診られる「おうち透析」管理のポイント～

共催：バクスター株式会社

座長：深水 圭（久留米大学病院腎臓内科）

1. なぜ、今おうち透析（腹膜透析）か？～おうち透析のメリットと基幹病院の役割～

医療法人仁友会北彩都病院

平山智也（ひらやま ともや）

2. 非専門医がおうち透析（腹膜透析）を診るに至った訳

愛し野内科クリニック

岡本 卓（おかもと たかし）

12：00～12：50 ランチオンセミナー6

共催：協和キリン株式会社

座長：荒木信一（和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座）

「DKD 重症化予防のための地域における取り組みと治療」

旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

安孫子亜津子（あびこ あつこ）